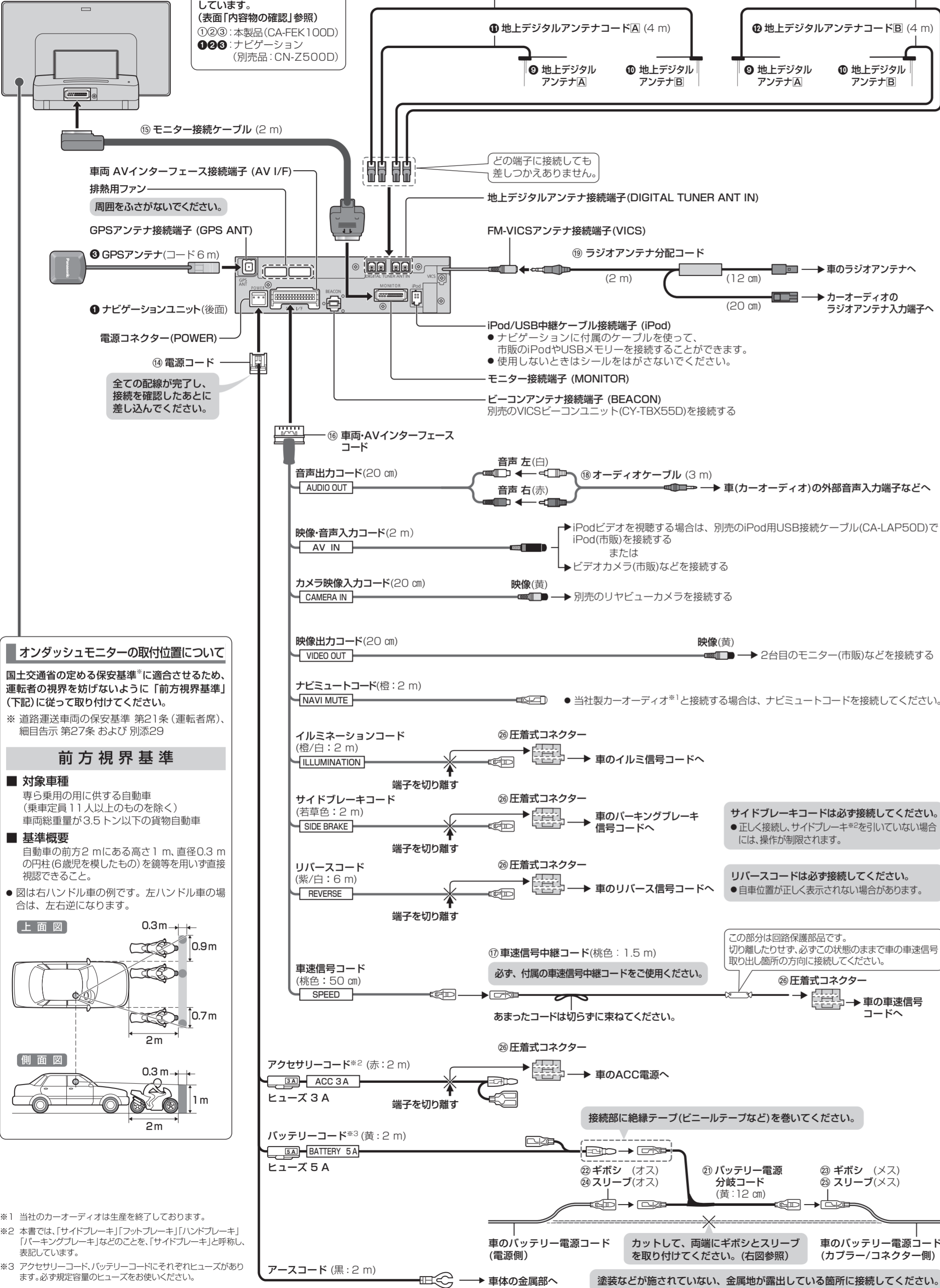


配線のしかた

② オンダッシュモニター(後面)

部品の番号は、下記のように区別
しています。
(表面「内容物の確認」参照)
①②③:本製品(CA-FEK100D)
④⑤⑥:ナビゲーション
(別売品:CN-Z500D)

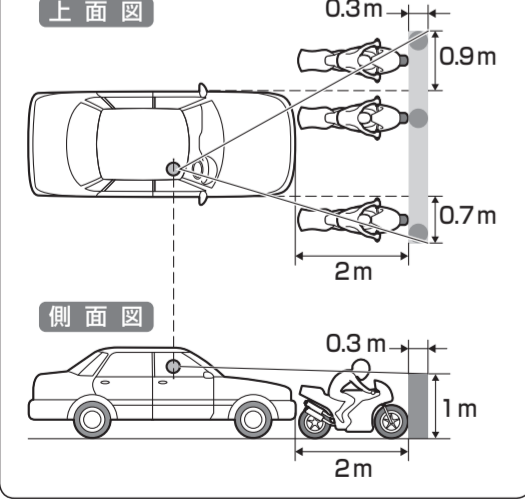


オンダッシュモニターの取付位置について

国土交通省の定める保安基準[※]に適合させるため、運転者の視界を妨げないように「前方視界基準」(下記)に従って取り付けてください。
※ 道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)、細目告示 第27条 および 別添29

前方視界基準

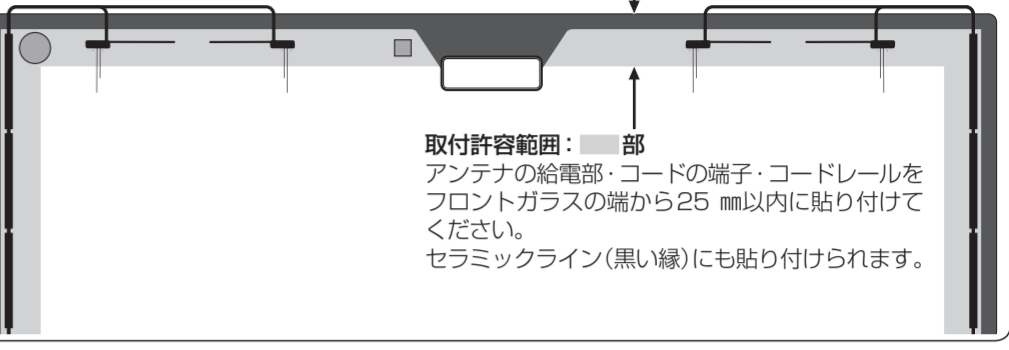
- 対象車種
専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く)
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車
- 基準概要
自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接視認できること。
● 図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右逆になります。



※1 当社のカーオーディオは生産を終了しております。
※2 本書では、「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」「パーキングブレーキ」などのことを、「サイドブレーキ」と呼称し、表記しています。
※3 アクセサリーコード、バッテリーコードにそれぞれヒューズがあります。必ず規定容量のヒューズをお使いください。

アンテナの貼り付け位置について

- 必ず車室内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 性能を十分に発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。指定の位置や寸法内に取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 国土交通省の定める保安基準[※]に適合させるため、アンテナの給電部・コードの端子・コードレールは、必ず取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。
※ 道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37

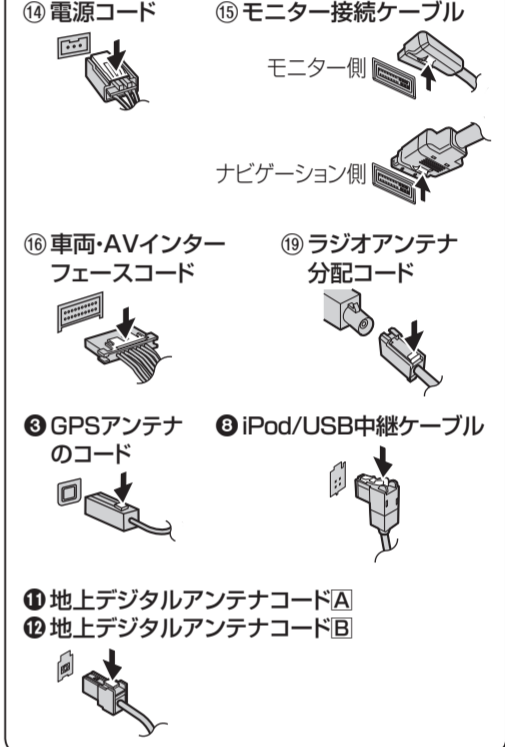


お願い

- コネクターは確実に差し込んでください。
- コードを引く際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーやケーブル固定テープ、ケーブル固定バンド・コードレールなどで要所を固定してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」(→ナビゲーションの説明書)にヒューズの交換を依頼してください。
- 使用しないコードやコネクターは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。
- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップを外さないでください。
- 地上デジタルアンテナのコード・車のラジオアンテナのコード・GPSアンテナのコード・電源コードは、ナビゲーションユニット・別売のVICSビーコンユニット・モニター接続ケーブルからできるだけ離してください。GPSの受信感度が低下したり、TV・FMラジオの音声が雑音が入る原因となります。

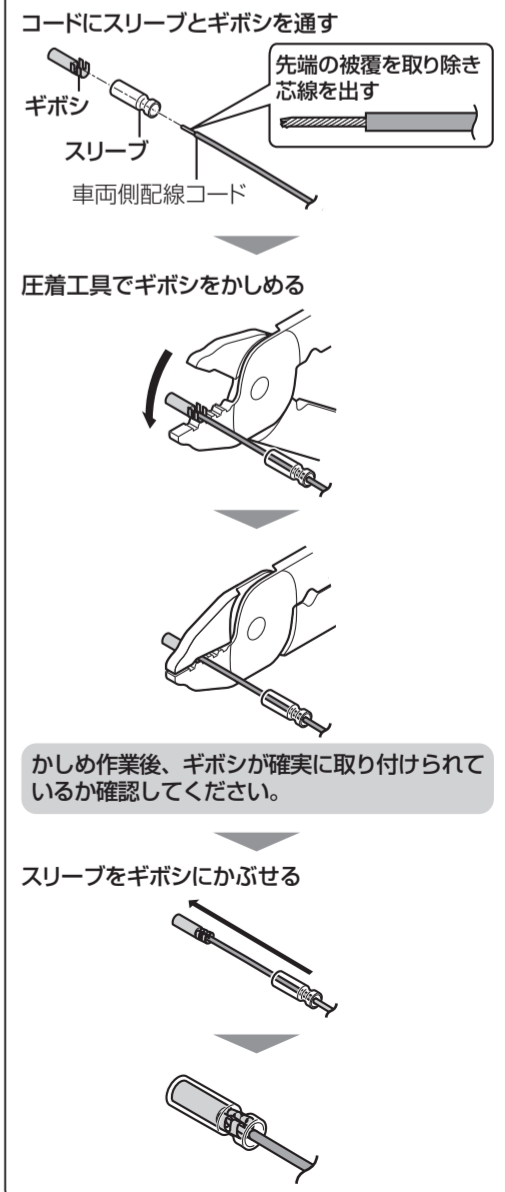
ロック付きコードの取り外しかた

矢印の方向に押しながら、取り外す。
● 無理に引っ張ると破損することがあります。
● 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取り外してください。



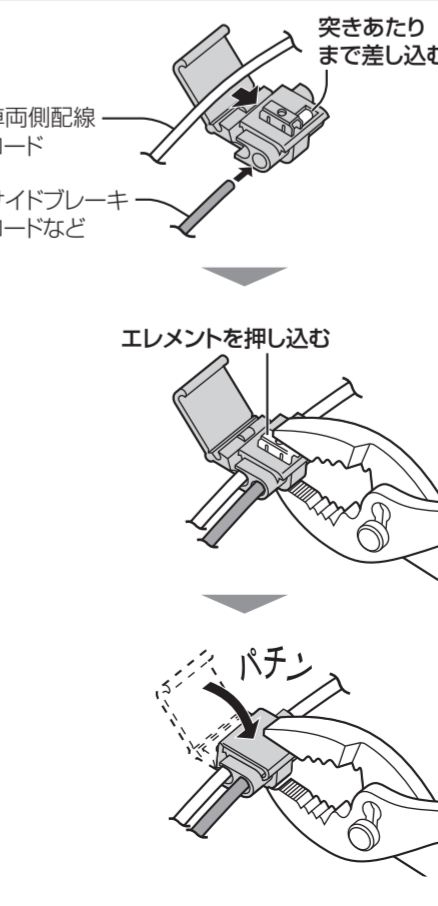
ギボシとスリーブの取り付けかた

ギボシとスリーブは、オス/メスの違いを確かめ指定の箇所正しく使用してください。



圧着式コネクターの取り付けかた

圧着式コネクターは、指定の箇所以外に使用しないでください。



サイドブレーキコードは必ず接続してください。
● 正しく接続し、サイドブレーキ*2を引いていない場合には、操作が制限されます。

リバースコードは必ず接続してください。
● 自車位置が正しく表示されない場合があります。

この部分は回路保護部品です。切り離したりせず、必ずこの状態のまま車の車速信号取り出し箇所の方向に接続してください。

必ず、付属の車速信号中継コードをご使用ください。
あまったコードは切らずに束ねてください。

カットして、両端にギボシとスリーブを取り付けてください。(右図参照)
塗装などが施されていない、金属地が露出している箇所に接続してください。